

# 名古屋大学史紀要創刊にあたって

名古屋大学史編集委員会委員長  
名古屋大学史編集室長

江 藤 恭 二

本年五月一日をもって開学五十周年を迎えた本学では、記念事業の一環として『名古屋大学五十年史』を刊行することとし、去る昭和六十年二月、名古屋大学史編集委員会が設けられ、爾後編集室を中心にして編集作業が進められてきた。

そもそも、『名古屋大学五十年史』は、前史および帝国大学期、さらに新制大学期を通じて、名古屋大学が人材の育成および學術の発達において果たした役割について、一つには国家政策との関わりから、他方、地域（東海地方さらには中部地方）の本学に対する要求・期待との関わりから叙述することをめざし、さらには、名古屋大学の歴史を前史を含めて総合的・体系的に叙述し、大学史・教育史・地域史としても学術的内容を充たすことをめざして編集を開始したものである。

編集室は室長および専任室員（一名）を中心に、ほぼ全学から加わった室員十余名によって通史執筆体制を組織し、本年十月刊行予定の部局史（二巻構成）にひきつづき通史の編集作業に取り組みつつある。これらの過程で収集されてきた資料は重要なものが多いが、一面において戦時中・戦争直後の時期の資料等甚だ収集において不十分な面もあり、今後の積極的な資料収集活動が期待される場所である。

以上のような編集の過程を通じて、個々の問題を学術的に検討し、論述する試みの必要性も生じてきた。研究論文、座談会、資料紹介などの本紀要内容を通じて、五十年史の叙述内容はより補強され、裏付けられるものとする。『名古屋大学五十年史』の内容の充実と編集作業の質的発展を期しながら、本紀要を今後とも継続的に刊行していきたいと念じている。編集事業全般に対する関係各位の御理解と御協力とを切にお願いしたい。

平成元年八月